

# キャベツ・ブロッコリー版グリーンな栽培体系マニュアル

令和5年3月  
福井地区園芸タウン推進協議会

## グリーンな栽培実践ポイントについて

### 1. 施肥方法

- 保肥力を高めるため、作付け前に堆肥または腐植質資材を投入する。
- 畝立て同時施肥機による畝内施肥を行い、基肥量を2～3割削減する。

### キャベツ施肥基準

- 1回目：定植14日後頃 → 外葉を大きくし、結球までの生育を進める。
- 2回目：結球始め（定植25～30日後頃）

〔施肥基準①〕 慣行施肥 (kg/10a)

肥料名	基肥	追肥	
		1回目	2回目
堆肥	2,000		
マグエース	120		※生育に合わせて追肥
あさひ※	80		
そさい5号※	40	40	40
成分量	N:32.0 P:20.0 K:28.8		

※あさひ、そさいは、アグリフラッシュでも代用可。

〔施肥基準②〕 畝内施肥＋有機質肥料体系① (kg/10a)

肥料名	基肥	追肥	
		1回目	2回目
堆肥	2,000		
マグエース	120		※生育に合わせて追肥
鶏糞	690		
アグリフラッシュ		40	40
成分量	N:27.8 P:61.6 K:30.4		

〔施肥基準③〕 畝内施肥＋有機質肥料体系② (kg/10a)

肥料名	基肥	追肥	
		1回目	2回目
堆肥	2,000		
マグエース	120		※生育に合わせて追肥
夢ぼかし	260		
アグリフラッシュ		40	40
成分量	N:27.8 P:25.5 K:19.3		

## ブロッコリー施肥基準

○花蕾見え始めまでに葉を大きくする。

- 〔 1回目：定植 14 日後頃  
2回目：定植 35～40 日後頃（本葉 12～13 枚展開時）：花蕾が見える前

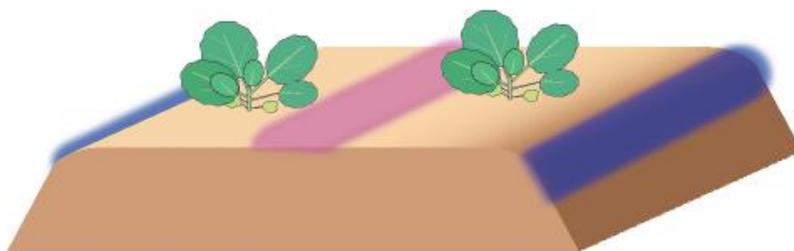
〔施肥基準①〕 慣行施肥 (kg/10a)

肥料名	基 肥	追 肥	
		1 回目	2 回目
堆肥	2,000		
マグエース	120		※生育に合わ
あさひ※	80		せて追肥
そさい5号※	40	20	20
成分量	N:25.6 P:16.0 K:23.2		

※あさひ、そさいは、アグリフラッシュでも代用可。

〔施肥基準②〕 畝内施肥＋有機質肥料体系 (kg/10a)

肥料名	基 肥	追 肥	
		1 回目	2 回目
堆肥	2,000		
マグエース	120		※生育に合わ
有機アグレット 674	280		せて追肥
アグリフラッシュ		20	20
成分量	N:22.4 P:25.6 K:16.8		



- 1 回目：条間に施用
- 2 回目：畝肩に施用

※追肥時に中耕するとよい

図1 追肥の施用位置



写真1 追肥1回目の適期  
(キャベツ定植 14 日後)



写真2 追肥2回目の適期  
(キャベツ定植 25～30 日後)

## 2. 主要病害虫の防除方法

- 定植前のセルトレイ苗に殺虫剤を灌注処理し、初期防除を省力化する。
- 定植後10～14日後をめどに、ヨトウムシ類を中心とした薬剤散布を開始し、7～10日間隔で定期的に防除を行う。
- 生育前半（キャベツの結球始期、ブロッコリーの花蕾発生期まで）防除を徹底し、病害虫の多発を未然に防ぐ。

【参考】ドローン防除体系（定植時期：8月下旬）

時期	生育ステージ		薬剤名	発生しやすい病害虫
	キャベツ	ブロッコリー		
9月上旬	定植2週間後	定植2週間後	トルネードエース DF	ハイマダラノメイガ
9月中旬			ベネビア OD	アオムシ、コナガ
(大雨または強風後、但し結球前まで)			Zボルドー	ヨトウムシ類
9月下旬	結球始め		プレバソンフロアブル 5	軟腐病
10月上旬 ～中旬	結球初～中期	花蕾発生期	フェニックス顆粒水和剤 パレード20フロアブル	ヨトウムシ類 コナガ
10月下旬	結球中～後期	花蕾肥大期	ヨーバルフロアブル	株腐病 べと病

- 緑肥（ヘイオーツ等）を栽培し、根こぶ病予防と有機質補給を行う。

### ★根こぶ病対策★

- ・ 前作で根こぶ病が発生した圃場では作付けしない。
- ・ 根こぶ病菌を増やさない対策
  - ① 排水対策を徹底する（排水が悪いと感染しやすい）
  - ② 石灰（マグエース等）を多く施用し、土壌を中性（pH7）に近づける
  - ③ 緑肥（ヘイオーツ）を作付けする（輪作する）
  - ④ 作付け前に土壌処理剤（ネビジン、オラクル等）を散布する。

# 栽培基準

## 1 圃場準備

○ロータリでの耕うんは定植直前まで行わない（圃場が乾きにくくなる）

○なるべく定植の前日（当日）に畦立を行うと、雑草対策、土壌水分確保に有効。

○トラクタ車速は遅く（0.25～0.30km/h）、ロータリ回転は速く（PTO 3～4）する。

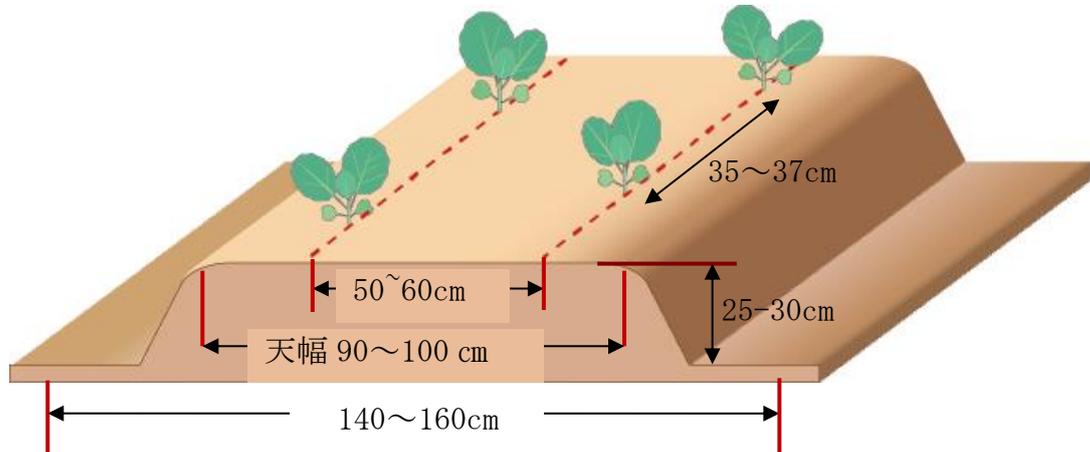
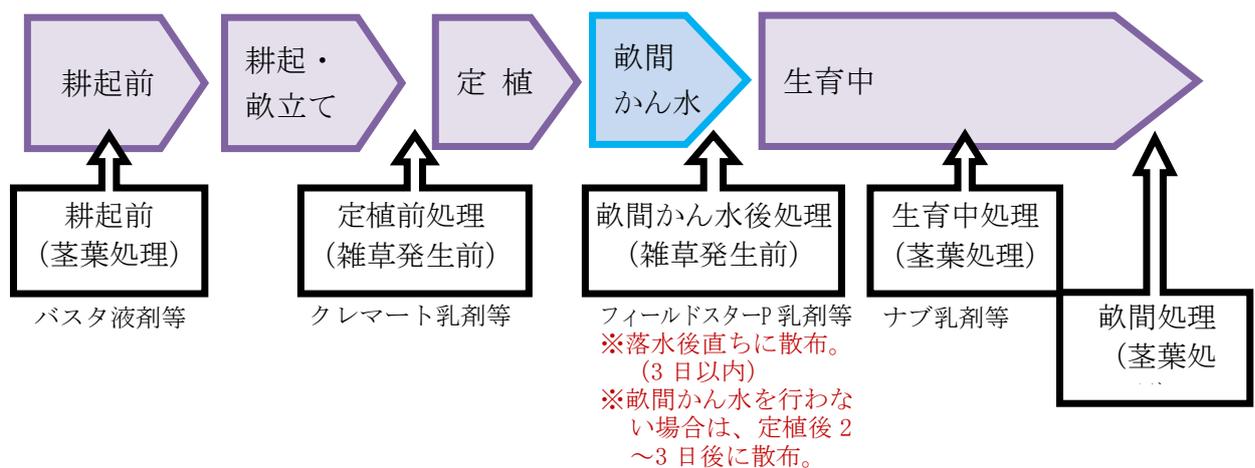


図3 畝の形状および定植間隔

## 2 除草対策

### ☆除草剤処理の手順



### 3. 排水対策

○表面排水できる圃場 = 排水口が田面より低い圃場で作付けする

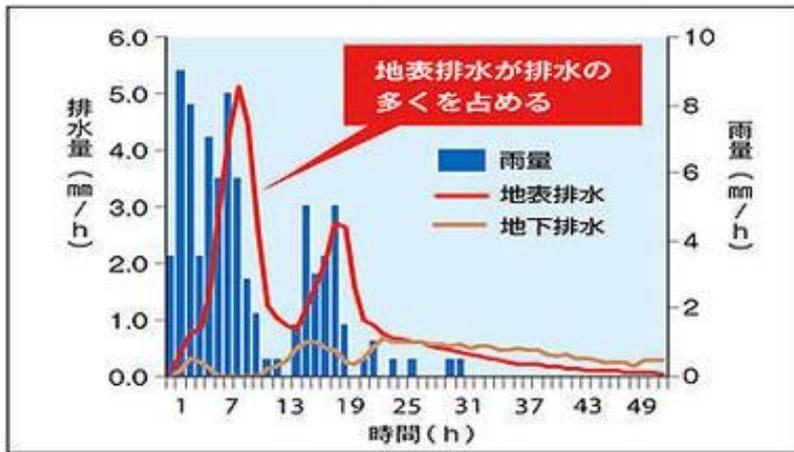


写真1 田面より 30 cm低い排水口

図1 地表と地下の排水量 (出典：農研機構・中央農業総合研究センター北陸研究センター)

○圃場準備前に、表面排水対策、垂直排水対策の2つを実施する



図2 圃場の排水対策



写真2 畦を切って整備した排水口